

1060 容器・包装における気相蒸着(CVD)技術の応用、評価、開発動向」

Application of CVD coating for Packaging Materials and Containers

CVD 技術を利用して容器・包装基材の表面に機能性薄膜を付与する技術は 1990 年代から実用への展開が進展している。付与される機能はガスバリア製改善、溶出吸着抑制、耐候性改善、滑り性付与等多岐にわたる。

DLC(ダイヤモンドライクカーボン)、シリカ系薄膜を中心に、減圧、大気圧下でのプラズマ CVD 技術の概要、プロセス開発の現状、評価、分析手法、特許状況、市場動向について概説する。

【講座内容】

1. CVD 技術とは
2. 機能付与のメカニズム、評価方法、性能比較
3. 包装材料・容器における各種コーティング技術の状況、特許動向
4. 薄膜の評価方法
5. 機能薄膜応用製品技術、開発動向、市場の動向

お問い合わせ先

日本包装コンサルタント協会 (JPCA)

講座担当(白倉) FAX; 03-3465-5493

Email ; shirakura@kuramae.ne.jp